

令和5年度「現代の国語」シラバス

科目	現代の国語	単位	2	学年	1	指導者名 砂 川 敏 彦 印 宮 里 智 子 印 西之原 恵 印
使用教科書	高等学校 精選現代の国語(第一学習社)				副教材等	トータルサポート 新国語便覧(大修館書店)

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもたうとしている。

人数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。		○		授業態度
				○		発問評価
				○		指名音読
				○		話し合い
				○		発表・報告
					○	調査とまとめ
					○	学習課題集の提出
					○	説明文の提出
			○			定期考査
			○			リフレクション
			○			シート
			○			ポートフォリオ
			○			等
					○	
					○	

	職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2		書き方の基礎レッスン	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書くとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○ ○ ○			授業態度 発問評価 発表・報告 ○ 学習課題集の提出 ○ ノートの提出 リフレクションシート ○ ポートフォリオ等
2		社会に対する意見文を書く	・意見文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書くとしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。		○ ○ ○		授業態度 発問評価 話し合い ○ 発表・報告 意見文の提出 ○ ノートの提出 リフレクションシート ○ ポートフォリオ等
5		「本当の自分」幻想（平野啓一郎）評論のしるべ	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 ○ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ○ ポートフォリオ等 ○
6		ものとことば（鈴木孝夫）評論のしるべ	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、説明の仕方を工夫する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ ○ 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ○ ポートフォリオ等 ○ ○

	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・複数の図表を伴う文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
6	生と死が創るもの（柳澤桂子）評論のしるべ	・三つのまとのまりの関係性を捉えて内容を把握し、生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・生命倫理について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉えようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、共通して提起されている問題について対応策を考え、表現の仕方を工夫して文章にまとめようとしている。 ・筆者の経歴や発表している短歌等を調べ、生と死に関する自分の考えを深めようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	スピーチで自分を伝える	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	相手に伝わる案内をする	・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 ・相手や場の状況を押さえて案内することができる。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。	○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
8	フェアな競争（内田樹）評論のしるべ	・筆者が自説を述べるための論を進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		- 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 - 常用漢字を文や文章の中で活用する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 - 読書の意義と効用を理解する。 - 接続の仕方に注意して内容・構成を捉え、学習課題に従ってまとめようとしている。 - 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 - 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○	リフレクションシート ポートフォリオ等
3	学校新聞の記事内容を検討する	- 与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 - 異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 - 読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認、書き直す手順を学ぶ。 - 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 - 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 - 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノート の提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	待遇表現	- 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 - 敬語表現が選択される視点を理解する。 - 相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 - 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題集の提出 ノート の提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
4	ロビンソン的人間と自然 (村岡晋一) 評論のしるべ	「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 - 自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 - 常用漢字を文や文章の中で活用する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 - 読書の意義と効用を理解する。 - 内容や構成を叙述を基に捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 - 既習の評論と粘り強く読み比べ、共通点を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
5	現代の「世論操作」 (林香里) 評論のしるべ	- 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 - 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 - 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 - 常用漢字を文や文章の中で活用する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 - 読書の意義と効用を理解する。 - 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 - 個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 説明文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。			○	
3	論理的な表現	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	地域の魅力を紹介する	・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。 ・目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。		○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 紹介文の提出 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	理想の修学旅行をプレゼンする	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。		○ ○	○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等
6	合意形成のための話し合いを行う	・話し合いの進め方のルールを理解する。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。		○ ○	○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ等

令和5年度「言語文化」シラバス

科目	言語文化	単位	2	学年	1	砂 川 敏 彦 印 宮 里 智 子 印 西 之 原 恵 印
使用教科書	高等学校 精選言語文化(第一学習社)			副教材等	精選言語文化 学習課題集(第一学習社) 精選言語文化 古典本文ノート(第一学習社)	

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもっている。

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	羅生門(芥川龍之介) 文学のしるべ	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	自分の感受性くらい(茨木のり子)	・現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。 ・「へのせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合おうとしている。		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	I was born(吉野弘)	・散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 ・「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		に話し合おうとしている。				定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ 等
2	夢十夜（夏目漱石） 文学のしるべ	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている ・『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ 等
1	その子二十	・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ 等
1	こころの帆	・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 感想文の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ 等
4	城の崎にて（志賀直哉） 文学のしるべ	・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ 等
2	祭りの笛（三浦哲郎）	・我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・「言語活動」への見通しをもって随筆を読み、我が国の伝統行事についてももの見方を深めようとしている。 ・粘り強く随筆を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について評価しようとしている。		○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 調査とまとめ リフレクション シート 等

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	〔言語活動〕「祭り」をテーマに随筆を書く	- 我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。 - 伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。 「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。		○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 随筆の提出 リフレクションシート 等
1	古文の学習	- 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 - これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。		○	○	授業態度 発問評価 リフレクションシート 等
2	児のそら寝 古文を読むために1 古文を読むために2	- 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 - 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 - 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 - 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 等
2	なよ竹のかぐや姫	- 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 - 伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 - 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 - 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 等
1	〔言語活動〕 古典から受け継がれる話の由来を調べる	- 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 課題に応じて調査する。 - 言語文化の継承に関心と自覚をもち、図書館の資料などを用いて、話の由来について調べようとしている。		○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート 等
1	〔古典のしるべ〕平仮名の誕生	- 時間の経過による文字の変化について理解する。 - これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	○		○	授業態度 発問評価 リフレクションシート 等
4	伊勢物語 〔歴史の窓〕 古文を読むために3	- 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 - 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 「東下り」では課題に応じて調査する。 「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 - 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 - 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 - 学習課題に沿って異なるテキストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ 等

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	〔言語活動〕読み比べる・大和物語	『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 『伊勢物語』の同話と積極的に読み比べ、『大和物語』の表現の特色を評価している。 - 積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力に気づいている。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
4	枕草子 古文を読むために4 〔歴史の窓〕	- 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 - 自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 「九月ばかり」では課題に応じて調査する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 - 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 「はしたなきもの」では時間の経過による言葉の変化について理解する。 - 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 - 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
4	土佐日記 古文を読むために5	- 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 - 女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 「門出」「亡児」では課題に応じて調査する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主として助詞について文語のきまりを理解する。 - 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 - 学習課題に沿って異なるテキストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	徒然草 古文を読むために6 〔歴史の窓〕	『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 - さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 「花は盛りに」では課題に応じて調査する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 - 主として敬語について文語のきまりを理解する。 - 随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。 - 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	平家物語 〔古典のしるべ〕 和漢混交文	- 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 - 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主として敬語について文語のきまりを理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 - 作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 - 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	万葉集 〔古典のしるべ〕 和歌の伝統と継承 古文を読むために7	・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辭について、文語のきまりを理解する。 ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
1	古今和歌集 〔古典のしるべ〕 和歌の伝統と継承 古文を読むために7	・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辭について、文語のきまりを理解する。 ・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・対象の捉え方の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
2	〔言語活動〕古典の和歌を現代の言葉で書き換える（俵万智）	・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・『伊勢物語』との関係を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとしている。 ・古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 和歌の提出 リフレクションシート等
1	漢文の学習	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート等
3	訓読に親しむ 漢文を読むために	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート等

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	漁父之利 狐借虎威	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○			授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	完璧	・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「渑池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。 ・藺相如の登場する別の話と粘り強く読み比べ、表された人物像の相違点をまとめようとしている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
3	唐詩の世界 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
1	日本の漢詩 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・今までの学習を生かして漢詩のきまりを押さえ、よまれた心情を積極的に説明しようとしている。 ・我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等
4	桃花源記	・漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・『老子』の「小国寡民」と読み比べる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・長めの文章を粘り強く読み、内容や展開を説明しようとしている。 ・作者の描く理想郷を理解し、孔子について興味をもち、『老子』の「小国寡民」と読み比べて、考えを深めようとしている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ等

令和5年度「古典探究 漢文編」シラバス

科目	古典探究	単位		学年	2	指導者名 砂 川 敏 彦 印 諸見里 美 幸 印 上江洲 友 美 印 西之原 恵 印
使用教科書	高等学校 古典探究 漢文編(第一学習社)	副教材等	新国語便覧(大修館書店)			

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	推敲 吳越同舟 嬰逆鱗 知音	- 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 - 故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 訓読のきまりについて理解を深める。 - 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 友情に関する故事	- 友情に関する故事成語の由来や意味を調べ、その成果をまとめたり発表したりすることを通して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 - 古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 漢文が日本語に与えた影響について考えることにより、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめたり発表したりしようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 リフレクションシート
1	鼓腹撃壤	- 史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治のあり方について理解を深める。 - 史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 - 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 - 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想的政治のあり方を捉えようとしている。	○		○	
2	莫敢飾詐	・戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、王が二人の大夫に下した判断の理由を読み取る。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読み、二つの国の評判と実態を捉えようとしている。 ・王が二人の大夫に下した判断の理由を、文章に即して理解しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	鶏鳴狗盗	・戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、作中に描かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の関係を整理しようとしている。 ・孟嘗君の人物像を捉え、彼が危難から脱出できた理由を進んで説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 読み比べる・読孟嘗君伝	・「鶏鳴狗盗」の話を批判する王安石の「読孟嘗君伝」を読み、王安石が理想とする君主のありようを捉える。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「鶏鳴狗盗」と「読孟嘗君伝」とを粘り強く読み比べ、王安石が考える「士」とはどういう人物か、自分の考えを説明しようとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクションシート
2	背水之陣	・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 韓信の戦略	・韓信の伝記を記した『史記』『淮陰侯列伝』を読み、教科書本文では省略されている、韓信が「背水の陣」という戦略をとるに至った背景を捉える。 ・作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 ・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「背水之陣」と『史記』『淮陰侯列伝』とを粘り強く読み比べ、韓信の戦略の背景を整理しようとしている。	○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 リフレクションシート
2	雑説	・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 ・論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・文章に表れる表現の特色について理解を深める。	○ ○ ○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		いる。 ・「四面楚歌」と「鴻門之会」とを粘り強く読み比べ、それぞれに描かれた項王の人物像の違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。			○	
2	言語活動 劉邦の人物像	・劉邦の伝記である「高祖本紀」から、項羽とは対照的な劉邦の人柄を読み取る。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「高祖本紀」の記述から、劉邦の人柄を積極的に読み取ろうとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 リフレクションシート
3	中国の詩	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 漢詩の字句や構成を考える	・具体的な作品の復元作業をとおして、漢詩創作における字句の選び方や全体の構成のしかたを理解する。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・作品の復元作業に積極的に取り組み、詩人が創作をする際の考え方を理解しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 リフレクションシート
2	日本の詩	・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、作者が漢詩に託した自然や人事に対する思いを通して考えを深める。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・漢詩を鑑賞し、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・日本人がよんだ漢詩を鑑賞し、作品にこめられた自然や人事に対する思いを進んで読み取ろうとしている。 ・中国の文化が我が国の文化に与えた影響について積極的に理解しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 菅原道真と白居易	・菅原道真「不出門」詩と白居易「香炉峰下……」詩とを読み比べ、それぞれに描かれた作者の左遷地での生活の様子と心境の違いを捉える。 ・漢詩特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・菅原道真「不出門」詩と白居易「香炉峰下……」詩とを粘り強く読み比べ、それぞれに描かれた作者の左遷地での生活の様子と心境の違いを捉えようとしている。	○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクションシート
2	織女	・七夕伝説の由来の一つとなった説話を読み、古代中国の人々の想像力と天に対する考え方に触れる。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読み、主人公である董永の人物像と、織女が董永の妻になった理由を理解しようとしている。 ・話にこめられた意味について、進んで説明しようとしている。	○		○	ポートフォリオ
2	売鬼	・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超自然的な存在に対する見方に触れる。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読んで、一般的なイメージとは異なる幽霊の特徴を捉えるとともに、宋定伯が幽霊を売ることができた理由を説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	蟻王	・説話の型の一つである動物の報恩譚を読み、夢と現実とがどのように関連しているかを読み取る。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読んで、動物報恩譚の型を理解するとともに、話の中で夢がどのようなはたらきをしているかを説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	買粉児	・怪異譚の一つのパターンである、人が蘇生する話を読み、古代中国の人々の魂に対する考え方に触れる。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読んで、登場人物である男女の心情を整理するとともに、男が生き返る奇跡が起こった理由を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	酒虫	・人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考え方に触れ、劉氏にとっての酒虫の意味について考える。 ・小説という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・小説を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・小説という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に小説を読んで、番僧が酒虫を退治した方法を整理するとともに、番僧に会う前後の劉氏の考え方の変化を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 読み比べる・酒虫	・『酒虫』と、それを翻案した芥川龍之介の小説とを読み比べ、劉氏にとっての酒虫の意味について多角的に考察する。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。		○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		- 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 漢文の『酒虫』と芥川の『酒虫』とを粘り強く読み比べ、劉氏にとっての酒虫の意味について、異史氏や芥川の見解を参照しながら多角的に考察しようとしている。	○ ○		○	
2	言語活動 読み比べる・論語と老子	- 儒家と道家について解説した文章を参照しつつ、『論語』と『老子』の本文を読み比べ、両者の思想の共通点と相違点を捉える。 - 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 - 思想を述べた文章や関連する解説文を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 思想を述べた文章を読み、その内容や形式、語彙などに関連した課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 - 複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 - 古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 儒家と道家についての解説文を参照しつつ、『論語』と『老子』とを粘り強く読み比べ、両者の思想の共通点と相違点を説明しようとしている。	○ ○	○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクションシート
2	孟子	『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。 - 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 思想を述べた文章の特徴について理解を深める。 - 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 - 訓読のきまりについて理解を深める。 - 積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	老子	- 儒家と対立する道家の古典である『老子』を読み、古代中国思想について理解する。 - 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 思想を述べた文章の特徴について理解を深める。 - 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 - 訓読のきまりについて理解を深める。 - 積極的に『老子』を読み、老子が批判する世の中の考え方と、彼の主張について説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	莊子	- 儒家と対立する道家の古典である『莊子』を読み、古代中国思想について理解する。 - 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 思想を述べた文章の特徴について理解を深める。 - 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 - 訓読のきまりについて理解を深める。 - 積極的に『莊子』を読み、比喩や寓言にこめられた莊子の主張について説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	韓非子	- 儒家と対立する法家の古典である『韓非子』を読み、古代中国思想について理解する。 - 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 - 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。	○ ○ ○		○	リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 名句・名言について調べる	・ 『論語』を出典とする名句・名言について、意味や使用場面を調査し、その結果を発表する。 ・ 作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 『論語』を出典とする名句が現代の日本語にもたらした影響について理解を深める。 ・ 名句・名言の意味と使用場面を進んで調べ、その結果をわかりやすく発表しようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発表・報告 リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	不顧後患	・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に逸話を読み、臣下の立場にある少孺子の心情と、少孺子が呉王を説得するためにとった方法とを説明しようとしている。	○	○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
1	不若人有其宝	・前半の子罕の逸話と後半の論説とを読み、人にとっての宝とはどういうものかを捉える。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に逸話を読み、子罕が「玉」を受け取らなかった理由と、そのことに対する宋国の長者の評価について説明しようとしている。 ・人にとっての宝とはどういうものかについて進んで理解しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
1	不死之道	・「不死の道」を知る者の死をめぐる人々の言葉から、「不死の道」についてのそれぞれの考えを読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に逸話を読み、「不死の道」についての人々の考えを説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	言語活動 螳螂の故事	・「後患を顧みず」と、『莊子』山木編に載る同内容のたとえ話とを読み比べて、それぞれに込められた主張や教訓の違いを読みとる。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・逸話を読み、その内容や形式、語彙などに関連した課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「後患を顧みず」と『莊子』山木編とを粘り強く読み比べ、それぞれに込められた主張や教訓の違いを説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ リフレクション シート
2	漁父辞	・漁父と屈原の問答を対句に留意しながら読み、両者が主張する生き方の違いを把握する。 ・「辞」という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・漁父と屈原の問答を、対句に注目しながら進んで整理しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・積極的に文章を読み、漁父と屈原がそれぞれどういう生き方を主張しているかを説明しようとしている。			○	
2	五柳先生伝	・仮想の人物に自分自身を投影して自叙伝風に書かれた作品を読み、作者が理想として抱いた人物像を読み取る。 ・「伝」という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に文章を読み、五柳先生の描写を通してうかがえる作者の理想の人物像について説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	春夜宴従弟桃花園序	・四六駢儷体で書かれた美文の構成を理解し、文章に表れた作者の人生観を読み取る。 ・「序」という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「序」という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・本文の構成を、四字句・六字句と対句に注目しながら進んで整理しようとしている。 ・積極的に文章を読み、そこに表れた作者の人生観について説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	捕蛇者説	・蔣氏の言葉に表れた、古代の民衆の生活の様子を読み取るとともに、作者がこの文章を著した目的を理解する。 ・「説」という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・蔣氏の言葉を通してうかがえる永州の人々の生活の様子を整理するとともに、作者がこの文章を著した目的を進んで説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 漁父の歌の意味	・「漁父の辞」と同じ歌を載せる『孟子』離婁編上の話を読んで、歌の引用の意味合いが「漁父の辞」とどのように異なるのかを捉える。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「漁父の辞」と『孟子』離婁編上とを粘り強く読み比べ、「滄浪の歌」の読み取り方の違いを説明しようとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクションシート
5	古体の詩	・構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』	・「長恨歌」と、この作品から影響を受けて書かれた『源氏物語』桐壺の巻とを読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を捉える。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容を解釈する。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・「長恨歌」と『源氏物語』桐壺の巻とを粘り強く読み比べ、登場人物や物語の展開などの類似点を指摘しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 リフレクション シート
1	医薬談笑	・医薬の効能に関する二人の会話を読み、欧陽脩があげた例と、それに対して蘇軾が返した例の意味を理解する。 ・随想という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に随想を読み、欧陽脩と蘇軾があげた薬の例について、材料と効能をそれぞれ説明しようとしている。 ・蘇軾の発言の意図と、それを聞いた欧陽脩が「大笑」した理由を進んで考えようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
1	賢母辞拾遺	・拾った大金をめぐる拾い主と落とし主の心理を読み取り、この騒動を裁いた聶以道の判決の内容を理解する。 ・随想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に随想を読んで、大金の拾い主と落とし主の心理をそれぞれ整理するとともに、両者の主張を裁いた聶以道の理屈を説明しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	売柑者言	・作者が買った「柑」の実態とそれを売る者の言い分を契機として、作者の目が何に向けられているかを読み取る。 ・論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に論説を読んで、「柑」を売る者の主張を整理するとともに、作者が「黙然無以応」となった理由を説明しようとしている。 ・作者は「柑」の話を通して何を述べようとしたのかを、進んで考えようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	為学	・対句を多用した対比的構造に注意しながら論理の展開を押さえ、学問を行う態度に関する作者の考えを読み取る。 ・論説という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 論説の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 積極的に論説を読み、作者が蜀の辺境に住む二僧の話を取り上げた意図を説明しようとしている。 ・ 「昏・庸」「聡・敏」が学ぶ者の態度に及ぼす影響の違いを整理するとともに、作者は学問において何が重要だと考えているかを進んで説明しようとしている。	○ ○ ○ ○		○ ○	リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 文章表現のいろいろ	・ 「賢母 拾遺を辞す」と「売柑者の言」の表現や内容の特徴について、例示された「医菓談笑」と「学を為す」の特徴を参考にしながら考察する。 ・ 文章の種類や古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・ 複数の作品と読み比べることにより、内容の解釈を深める。 ・ 作品を読み、その内容や形式、語彙などに関連した課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・ 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・ 積極的に随想と論説を読み、それぞれの表現や内容の特徴を指摘しようとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発表・報告 リフレクションシート
3	管鮑之交	・ 王位継承をめぐる戦いの経緯を人物関係とともに押さえ、敵味方に分かれた友情の顛末を読み取る。 ・ 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・ 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 積極的に史伝を読み、管仲が斉の大夫に任命されるまでの経過を整理するとともに、鮑叔を「鮑子」と呼んだときの管仲の心情を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	孫臏	・ 兵法家が活躍した時代背景を知り、孫臏のすぐれた洞察や知略、龐涓との戦いにおける駆け引きを読み取る。 ・ 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・ 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 積極的に史伝を読み、孫臏が龐涓を破った手順を整理するとともに、「遂成豎子之名。」と言ったときの龐涓の心情を説明しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	張儀	・ 遊説家が活躍した時代背景を知り、張儀の行動や自信、蘇秦が張儀に仕掛けた策謀の顛末を読み取る。 ・ 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・ 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 積極的に史伝を読み、「舌」をめぐる妻との会話からうかがえる、自己の能力に対する張儀の考えを説明しようとしている。 ・ 蘇秦の張儀に対する評価と、蘇秦が張儀に仕掛けた策謀の内容を進んで整理しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	荊軻	・ 刺客が存在した時代背景を知り、荊軻を始めとする登場人物の心理とともに、秦王暗殺事件の顛末を読み取る。 ・ 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・ 作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○ ○ ○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・積極的に史伝を読み、荊軻が秦へと発つ際にうたった歌にこめた心情を説明しようとしている。 ・荊軻の秦王暗殺計画の経緯を整理するとともに、彼が暗殺に失敗した原因を進んで説明しようとしている。	○ ○ ○ ○		○ ○	リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 『史記』の魅力	・「史記の群像」単元収録の話の中から印象的な場面を取り上げ、『史記』の描写がもつ魅力について考察した結果を発表する。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・『史記』の特徴について理解を深める。 ・自分の印象に残った場면을積極的に取り上げ、『史記』の描写がもつ魅力について考えようとしている。	○	○ ○	○	授業態度 発表・報告 リフレクションシート

令和5年度「古典探究 古文編」シラバス

科目	古典探究	単位	2	学年	2	指導者名 砂 川 敏 彦 印 諸見里 美 幸 印 上江洲 友 美 印 西之原 恵 印
使用教科書	高等学校 古典探究 古文編(第一学習社)	副教材等	新国語便覧(大修館書店)			

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	古今著聞集	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辞について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	沙石集	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・説話という文章の種類に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとしている。 ・助動詞「き」「けり」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	今物語	・著名な和歌をふまえた話を読み、「やさし蔵人」の逸話を通して語り伝えようとしたことを読み解く。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 ・『古今著聞集』『沙石集』と読み比べ、和歌を含んだ説話の特質について積極的に理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。			○	ポートフォリオ
2	言語活動 小式部内侍と和泉式部	『古今著聞集』の「小式部内侍が大江山の歌の事」に関連させて、著名な歌人である母和泉式部と小式部内侍との親子関係を調査する。 - 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 - 集めた作品の内容を解釈し、小式部内侍と和泉式部の親子関係について考えたことを積極的に説明しようとしている。		○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
4	徒然草	- 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 - さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 - 我が国の文化の特質について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 - 作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方、考え方に対して理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	方丈記	- 鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 - 和漢混淆文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 - 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 - 我が国の文化の特質について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 - 文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 無常観の表現	- 鴨長明『方丈記』の表現について分析したうえで、無常観という観点で兼好法師『徒然草』と比較をする。 - 中世随筆という文章の種類をふまえて、古典特有の無常観に注意して内容を的確に捉える。 - 古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 - 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 - 我が国の文化の特質について理解を深める。 - 積極的に『方丈記』の表現の特色を分析しようとしている。 - 今までの学習を生かして、『方丈記』と『徒然草』を読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
5	伊勢物語	- 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 - 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 歌物語の特徴について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的	○ ○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。			○	シート ポートフォリオ
2	言語活動 主従の愛	・『伊勢物語』の惟喬親王関連の章段を複数読み比べることで、在原業平をモデルとした右馬頭と惟喬親王との主従関係を考える。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、『伊勢物語』の惟喬親王関連の資料を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・集めた資料の内容を解釈し、読後感の違いについて考えたことを積極的に発表しようとしている。	○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
4	大和物語	・和歌のよまれた事情を語る、散文性や叙事性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・歌物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。 ・学習の見通しをもって歌物語を読み、和歌のよまれた事情が記述された歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	竹取物語	・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 竹取の翁と姫	・『竹取物語』の翁と姫の登場場面について調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、翁と姫の登場場面を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・集めた資料の内容を積極的に解釈し、翁と姫についてわかったことを発表しようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	言語活動 貴族の生活と年中行事	・平安時代の年中行事や、地域の伝統行事の由来や歴史について調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。	○	○ ○ ○		授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、平安時代の年中行事や地域の伝統的な行事を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・調べた内容を知っていることと結び付け、自分の考えを積極的に広げたり深めたりしようとしている。	○		○ ○	
2	蜻蛉日記	・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・学習の見通しをもって『蜻蛉日記』を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	和泉式部日記	・自身の経験を三人称的視点で捉えた日記の特徴を理解しつつ、物語ふうに語られる恋の情緒を追体験する。 ・三人称的な視点で語られる日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・日記文学であるが、物語ふうの記述が特徴的である『和泉式部日記』を読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・学習の見通しをもって『和泉式部日記』を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 平安朝の結婚	・『蜻蛉日記』に記される作者の悩みや不満が、当時の結婚形態とどのように関係するかについて調査し、その成果をまとめたり発表したりすることにより、内容の解釈を深める。 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、平安時代の結婚形態や『蜻蛉日記』の記述などを進んで調べようとしている。 ・集めた資料の内容を解釈し、『蜻蛉日記』から読み取ったことをもとに自分の考えを深め、それを積極的にまとめようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
4	枕草子	・内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・「木の花は」「二月つごもりごろに」では、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。 ・学習の見通しをもって『枕草子』を読み、類集的章段・随想的章段・日記的章段があるという作品の特徴について、理解を深めようとしている。 ・漢詩文と関わりのある章段を読み、我が国の文化と中国の文化との関係について、積極的に理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	言語活動 現代語との比較	・「かなしい (かなし)」などの形容詞について、現代語と古語との意味の異なりについて調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって、積極的に調べたり説明したりしようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	言語活動 清少納言と漢文	・当時の貴族たちには漢文の知識が半ば常識であったことをふまえて、『枕草子』内で漢詩や逸話がどのような受容をされているか調査し、その成果をまとめたり報告したりする。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・複数の作品や文章を読み比べ、論述したり発表したりする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、漢詩文と関わりのある『枕草子』の章段を、図書館の資料などを用いて、進んで調べようとしている。 ・漢詩文と関わりのある『枕草子』を読み比べ、作品の中で漢詩文が果たす役割についてわかったことを積極的に報告し合おうとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
4	源氏物語	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	大鏡	・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 『源氏物語』と政治	・桐壺の更衣と弘徽殿の女御との軋轢を、後宮と政治とのつながりに留意し、更衣の最期や、光源氏の政治的立場を調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、「光る君誕生」の続きや光源氏の官職と治的立場を、進んで調べようとしている。 ・集めた資料の内容を解釈し、わかったことを積極的にまとめようとしている。	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	紫式部日記	・『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていたときの日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 ・日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・学習の見通しをもって『紫式部日記』を読み、作者の考えや意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や表現の特色について積極的に評価しようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
6	更級日記	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、	○	○		授業態度 発問評価 指名音読

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		内容を的確に捉える。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。 ・ 学習の見通しをもって『更級日記』を読み、晩年に書かれた自伝的日記であることに注意しながら、構成や展開を捉えようとしている。 ・ 内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	○ ○		○ ○	発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 菅原孝標女と物語	・ 物語の享受者としての菅原孝標女に着目し、『更級日記』の続きを読んで、物語への憧れがどのように変わっていったかを調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・ 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・ 読書の意義と効用について理解を深める。 ・ 学習の見通しをもって、図書館の資料などを用いて、孝標女が作者であるとされる作品の梗概や『更級日記』の続きを、進んで調べようとしている。 ・ 集めた資料の内容を解釈し、わかったことを積極的にまとめたり、発表し合ったりしようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
5	平家物語	・ 軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・ 軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・ 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・ 我が国の文化の特質について理解を深める。 ・ 軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・ 文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混交文の特色について理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 もう一つの『平家物語』	・ 教科書に収録されている『平家物語』を天草版『平家物語』と比較して、言葉の違いや変遷などについて考えを深める。 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・ 我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。 ・ 時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 ・ 読書の意義と効用について理解を深める。 ・ 学習課題に沿って、時間の経過による言葉の変化について理解を深めている。 ・ 覚一本と天草版の言葉の使い方や表現を比較し、違いを積極的にまとめようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
3	万葉集	・ わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、黎明期の和歌を鑑賞する。 ・ 和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・ 我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 文語のきまりについて理解を深める。 ・ 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・ 題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	古今和歌集	・ わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、発展期の和歌を鑑賞する。 ・ 和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。	○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・対象の捉え方や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	○ ○ ○		○ ○	出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
3	新古今和歌集	・わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、成熟期の和歌を鑑賞する。 ・和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・着想や表現方法の時代による変化を理解し、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
4	春夏秋冬	・和歌の伝統をふまえて成立した近世の俳諧の特色を理解し、時代を追って作品を鑑賞する。 ・俳諧という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・俳諧の修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・俳諧の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって俳諧の特徴を捉えようとしている。 ・今までの学習を生かし、俳諧の特色を理解し、俳諧を積極的に鑑賞しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	言語活動 切れ字を作って俳句を作る	・「切れ字」に焦点を置き、俳句を創作する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・進んで切れ字の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って切れ字を用いて俳句を創作しようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 俳句の提出 リフレクション シート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	発心集	・仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・文章に表れているものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	十訓抄	・主従のやりとりを通してどのような教訓を伝えようとしたのか、編者の意図を考えながら内容を読み味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・文章に表れているものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・登場人物のやり取りを学習課題に沿って整理し、この話から読み取れる教訓について進んで伝え合おうとしている。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	宇治拾遺物語	・展開や表現に即して倚垂の心理を追い、そこから浮かび上がる保昌の人物像を理解する。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・文章を読み、その内容や形式について考察した結果をまとめる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として接続詞について文語のきまりへの理解を深め、文語で文を書く。 ・本文の叙述や表現に即して粘り強く説話を読み、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 藤原保昌の伝説	・『今昔物語集』の同話と読み比べたり、逸話について調査し、その成果をまとめたり発表したりする。 ・保昌にまつわる複数の文章の読み比べをもとに、保昌の人物像とその伝承の在り方について考えを深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・『今昔物語集』の同話と積極的に読み比べ、表現の違いについて説明しようとしている。 ・保昌にまつわる伝説について進んで調査を行い、わかったことを伝え合おうとしている。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
4	枕草子	・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。 ・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 読み比べる・十訓抄	・『枕草子』と『十訓抄』収録の同話と読み比べて、共通点や相違点について論述したり発表したりすることで、内容への理解を深める。 ・説話という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める。 ・古典の作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める。 ・我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。	○	○ ○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		『十訓抄』の同話と積極的に読み比べ、共通点や相違点について考えたことを伝え合おうとしている。 - 典拠を始めとした作品の成立背景をふまえて粘り強く読解し、作者の意図や表現の特色について考えを深めようとしている。			○	
2	言語活動 貴族の衣服と色	- 古典に表れる服装と色について、課題に応じて資料を調べ、その成果をまとめたり発表したりすることで、我が国の文化について考えを深める。 - 貴族の衣服や色の表現に着目して古典作品を読み、内容の解釈を深める。 - 古典に表れる服装と、現代の服装とを結び付け、考えを深める。 - 古典に表れる服装と色について語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 学習課題に沿って積極的に調査を行い、我が国の言語文化について理解を深めようとしている。 - 古典に表れる事柄について自分たちの生活に引きつけて考えたことを、積極的に伝え合おうとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2 1	源氏物語	- 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 - 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 - 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 読み比べる・江談抄	- 荒れた屋敷で怪に襲われるという物語の型をふまえているという観点から、「夕顔の死」と『江談抄』の話とを読み比べることで、内容の解釈を深める。 「夕顔の死」の結末を『江談抄』とは異なるものとしたことによる効果について考え、構成や表現について評価する。 - 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 話の展開が似ている『江談抄』と読み比べ、結末の相違がもたらす効果について考えたことを積極的に伝え合おうとしている。 - 他作品との関係をふまえて、進んで内容の解釈を深めようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	言語活動 読み比べる・夕顔〈江國香織〉	「夕顔の死」の原文と現代の作家が口語訳したものを読み比べ、表現の工夫や古典作品の受容について考えを深める。 - 古典を現代語に訳す際の書き手の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 - 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 現代の作家が口語訳したものと積極的に読み比べ、学習課題に沿って書き手の意図や表現の特色について評価しようとしている。 『源氏物語』の口語訳について進んで調査を行い、わかったことを伝え合おうとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	言語活動 貴族の呼び名―官職と位階―	- 官職と位階にもとづく貴族の呼び名について、課題に応じて資料を調べ、その成果をまとめたり発表したりすることで、我が国の言語文化について理解を深める。 - 官職と位階という背景をふまえて読み、内容の解釈を深める。 - 学習課題に沿って積極的に調査を行い、我が国の言語文化について理解を深めようとしている。		○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	俊頼髄脳	- 和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、公任が考える、世評とは異なる和歌の評価基準を理解する。 - 歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 - 和歌の評価基準について述べた古典の文章を読み、和歌の修辞について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 学習の見通しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	無名抄	- 和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、俊恵が考える和歌の評価基準を理解する。 - 歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 学習の見通しをもって歌論を読み、和歌に関する多様な評価基準について積極的に理解を深めようとしている。 - 俊恵の評価基準をふまえて、学習課題に沿って和歌を評価しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	毎月抄	- 定家が本歌取りについて具体的に考察した内容を読み取り、和歌に関する理解を深める。 - 歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 本歌取りについて述べた古典の文章を読み、和歌の修辞について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 学習の見通しをもって歌論を読み、本歌取りについて積極的に理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	無名草子	- 著名な作品の女性作者二人を二百年後に批評した文章を読んで、歴史の伝承のしかたの一端に触れる。 - 評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を粘り強く整理し、理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 古典に見る人物評	『無名草子』の清少納言・紫式部評を踏まえて、そのほかの人物評の調査や、他作品に記された人物評との比較を行い、自分のものの見方や考え方を深める。 - 読書の意義と効用について理解を深める。 - 学習課題に沿って複数の人物評を比較し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
5	大鏡	- 歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 - 歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 - 書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 - 我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 - 文語のきまりについて理解を深める。 - 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 - 本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	言語活動 菅原道真の左遷の真相	・道真が左遷された経緯や、その後起こった祟りについて調べ、その成果をまとめたり発表したりすることにより、「菅原道真の左遷」の内容の解釈を深める。 ・「菅原道真の左遷」に続く『大鏡』の文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・本文の背景にある社会的事件について調査を行い、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	風姿花伝	・年齢に応じた稽古のしかたを説いた能楽論から、人の生き方に通じる普遍的な教訓を読み取る。 ・能楽について述べた評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習課題に沿って、本文から得られる人の生き方一般に通じる教訓について考え、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	三冊子	・キーワードとなっている「誠」と「習へ」の意味を押さえ、芭蕉が理想とした風雅（俳諧）のありようを理解する。 ・俳論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって俳論を読み、本文の叙述に即して、粘り強く内容の理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	去来抄	・松尾芭蕉とその門人たちの、句作をめぐる具体的な苦心や理念を読み取り、俳諧に対する理解を深める。 ・俳論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって俳論を読み、本文の叙述に即して、粘り強く内容の理解を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	玉勝間	・『徒然草』の一節を批判する作者の論理を理解し、古文を評価する態度や手法について考えを深める。 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習課題に沿って作者の主張と論理を本文の叙述に即して理解し、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	言語活動 本居宣長の「あげつらひ」	・「兼好法師が詞のあげつらひ」と『徒然草』の一節とを読み比べることにより、本居宣長の持つ国学の思想について理解を深める。 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・「兼好法師が詞のあげつらひ」と『徒然草』の一節とを読み比べ、宣長の批評の妥当性を評価する。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・読書の意義と効用について理解を深める。 ・宣長の批評の対象となっている『徒然草』第百三十七段と読み比べ、宣長の批評の妥当性について積極的に評価し、議論しようとしている。 ・宣長の批評の背景にある事柄について積極的に調査を行い、わかったことを伝え合おうとしている。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ リフレクションシート
2	讃岐典侍日記	・重病の天皇に仕えた日々を克明に記した日記を読んで、場面を的確に捉え、人々の心情を読み取る。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。	○ ○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。			○	定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	たまきはる	・場面と状況を的確に捉え、夢に現れた亡き主への思いや、現実の世の変転に対する思いを読み解く。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
2	とはずがたり	・自身の前半生を赤裸々に描いた日記を読み、不義の子の出産という特異な状況における男女の思いを読み解く。 ・日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
3	とりかへばや物語	・王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、特異な設定の作品を読んで、古典への興味を広げる。 ・作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
3	しのびね物語	・王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、悲恋物の定型と呼べる作品を読んで、古典への興味を広げる。 ・作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
3	堤中納言物語	・王朝文学の系譜に連なるさまざまな物語の中から、短編として書かれた作品を読んで、古典への興味を広げる。 ・作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート ポートフォリオ
3	西鶴諸国ばなし	・近世に生まれた新たな文芸を読み、語彙や表現に慣れるとともに、文章に表れた価値観を通して考えを深める。 ・浮世草子という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって浮世草子を読み、本文に表れた価値観について考えたことを進んで伝え合おうとしている。 ・今までの学習をふまえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクション シート

回数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
		深めようとしている。				ポートフォリオ
3	雨月物語	・近世に生まれた新たな文芸を読み、語彙や表現に慣れるとともに、文章に表れた価値観を通して考えを深める。 ・読本という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ・学習の見通しをもって読本を読み、話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○ ○	○ ○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

令和5年度 「論理国語」 シラバス

科目	論理国語	単位	2	学年	2	指導者名 砂 川 敏 彦 印 諸見里 美 幸 印 上江洲 友 美 印 西之原 恵 印
使用教科書	高等学校 標準論理国語(第一学習社)				副教材等	新国語便覧(大修館書店)

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	進化が導き出した答え（稲垣栄洋）	・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・生物の進化における多様性について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・本文の内容を人間の世界に当てはめた場合の生き方について粘り強く考え、文章にまとめて発表しようとしている。 ・積極的に本文に出てくる言葉を用いた短文を作り、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

[illegible]

階級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
3	情けは人の…… (俵万智)	- 本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - 関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 - 積極的に本文中の表現について指摘し、その表現が文章にもたらす効果を説明しようとしている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	犬も歩けば棒に当たる (阿刀田高)	- 一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - 関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 - 言葉の解釈について書かれた文章に関連した題材について、調査したことをまとめたり発表したりする。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 - 本文中の表現を指摘し、積極的に筆者の表現の工夫について考えようとしている。 - 複数の文章を粘り強く読み、理解したことを比較しながら学習課題に沿ってまとめようとしている。 - ことわざの誤用や複数の解釈について積極的に調査し、まとめようとしている。		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

[illegible]

階級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	鏡としての他者 (榎本博明)	- 文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - 自己と他者との関係について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 - 本文を読んで、日常生活において自己イメージを意識する場合について考え、進んで話し合おうとしている。 - 積極的に指示的な語句の効果を考え、説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	法に関わる文章を読み比べる	- 二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 - 関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 - 文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 - 特定の資料について、さまざまな観点から概要などをまとめる。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 - 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、関連付け、解釈しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ
4	ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	- 実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。 - 関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 - 文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 - 特定の資料について、さまざまな観点から概要などをまとめる。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 異なる形式で書かれた複数の実用的な文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 - 実用文の書き方が場面や目的によって異なることを積極的に把握しようとしている。 - 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクションシート ポートフォリオ

職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	新しい博物学を （池内了）	- 各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - 近代科学の具体例をあげ、「新しい博物学」を提案した文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 積極的に筆者の考えに対する意見をまとめ、文章にまとめようとしている。 - 積極的に比喩の効果を理解し、本文においてどのような効果を生んでいるかを説明しようとしている。	○ 	○ 	○ 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	哲学的思考とは何か（苦野一徳）	- 具体例や言い換えに留意しながら内容を正確に把握し、「哲学的思考」の方法を理解する。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 「哲学的思考」の方法について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落的关系を押さえ、学習課題に従って「哲学的思考」を理解しようとしている。 - 自分の考えと本文の内容とを照合し、粘り強く検証しようとしている。 - 積極的に本文中の表現効果について考え、その表現が論理展開にもたらす効果を説明しようとしている。	○ 	○ 	○ 	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	SNSと意見の分極化（岡本真一郎）	- フェイクニュースの社会的問題を分析的に説明する論展開を把握し、自分に照らして考えを深める。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - フェイクニュースとSNSの使用意識について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落的关系を押さえ、論理の展開を捉えようとしている。 - 本文での筆者の分析を基に積極的に考えを深め、フェイクニュースの具体例をあげ、その問題点を話し合おうとしている。 - 積極的に本文に出てくる言葉を用いた短文を作り、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	○ 	○ 	○ 	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

[illegible]

[illegible]

	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5	僕らの時代のメディア・リテラシー（森達也）	- 筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - メディアの進化とリテラシーの重要性について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 - 筆者のメディアについての主張を捉え、その主張の理由を粘り強く説明しようとしている。 - 本文を読んで、メディアに対する考えに変化があったかどうかを進んで振り返り、変化を比較しながら文章にまとめようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	支え合うことの意味（鷲田清一）	- 抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - 人と人との「支え合い」について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 筆者の主張を捉え、その内容について積極的に考え、学習課題に沿って説明しようとしている。 - 本文の内容を把握して、筆者の考えを積極的に評価しようとしている。 - 本文中の表現について、粘り強くその表現効果によりイメージされる事柄を考え、説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
5	科学技術は暴走しているのか（佐倉統）	- A I やロボット技術の現状や日本における捉え方をふまえ、科学技術との向き合い方を考える。 - 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 - 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 - 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 - A I やロボットなどの科学技術について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 - 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 - 粘り強く段落と段落的关系を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 - 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 - 本文を読んで、科学技術に対する考えに変化があったかどうかを進んで振り返り、変化を比較しながら文章にまとめようとしている。 - 積極的に本文に出てくる言葉を用いた短文を作り、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 ノートの提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

順	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
3	推論とは何か（仲島ひとみ）	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。 ・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 ・推論の種類について述べた文章を粘り強く読み、その内容について理解を深めようとしている。 ・推論の種類の違いを把握し、それぞれの事例について積極的に考え、その妥当性を検討しようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	帰納法のワナ―一般化に対する疑問（谷岡一郎）	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 ・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。 ・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・複数の文章を粘り強く読み、推論について理解したことを生かして積極的に誤りを指摘しようとしている。	○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	資料を集めて情報を整理する	・目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 ・資料の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・集めた情報を的確に整理する方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 ・情報を収集、整理し、妥当性や信頼性を吟味して、目的や意図に応じた適切な情報を選別する方法を学ぶ。 ・目的に応じた資料を粘り強く探そうとしている。 ・積極的に資料の信頼性や妥当性を確かめ、目的や意図に応じて選別しようとしている。 ・集めた情報を適切に整理しようとしている。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む	・資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。 ・得られた情報から疑問点をあげていく方法を理解する。 ・疑問点を整理してテーマを絞り込む方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 ・情報を収集、整理し、妥当性や信頼性を吟味して、目的や意図に応じた適切な情報を選別する方法を学ぶ。 ・情報を多面的・多角的な視点から分析し、報告するテーマを決める方法を学ぶ。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・教科書の例を参考に、集めた資料から粘り強く実態を読み取り、積極的に疑問点をあげようとしている。 ・積極的に疑問点を整理し、問いを定め、レポートにまとめるテーマを絞り込もうとしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報を妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	構成を考えてレポートを書く	・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。 ・実際にレポートを書く方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 ・文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学ぶ。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。 ・情報を整理し、アウトラインを作ってレポートを書くというレポートの作成手順を粘り強く理解しようとしている。	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	書いたレポートを評価・分析して修正する	- 書き上げたレポートを評価するポイントを理解する。 - 指摘された修正点をふまえて、実際にレポートを修正できるようになる。 - 自分の考えが的確に伝わるように書かれているか、読み手の評価も参考にして文章を吟味し、書き直す。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - レポートを評価するポイントを粘り強く理解しようとしている。 - 評価を踏まえて積極的に資料や内容を見直し、レポートの修正案を考えようとしている。 - 学んだことをもとに、積極的にレポートを書こうとしている。 - 書いたレポートを相互評価し、批評を踏まえて粘り強く修正しようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 調査とまとめ ノートの提出 レポートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	課題の文章を読んで情報を整理する	- 課題文型小論文への対応のしかたを理解する。 - 課題文の論旨と主題を読み取る方法を理解する。 - 課題文を要約する方法を理解する。 - 設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 課題文の論展開と筆者の主張を粘り強く読み取ろうとしている。 - 積極的に課題文の要約の方法を理解し、要約文を作成しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 ノートの提出 要約文の提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	得られた情報を分析して自分の考えを決める	- 課題文から得た情報と設問の指示とをふまえて、自分の考えを決める方法を理解する。 - 主張を支える根拠をあげる方法を理解する。 - 設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 - 得られた情報をもとに自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 - 自分の考えを多面的・多角的な視点から見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主張を明確にする。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 課題文の内容を踏まえて、積極的に自分の「立場」（主張）を決めようとしている。 - 主張を支える適切な根拠を粘り強く考えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 ノートの提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	構成を考えて小論文を書く	- 論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。 - 本論部分を充実させることの重要性を理解する。 - 実際に小論文を書く方法を理解する。 - 設定した題材について、仮説を立てて考察した内容を意見文にまとめる。 - 文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 教科書の例を参考に、構成や表現の仕方を工夫して、積極的に小論文を書こうとしている。 - 論理的な文章を書くための効果的な文章構成や論展開の仕方を把握し、積極的に構成に生かそうとしている。 - 自身の経験や見聞きした知識をもとに、粘り強く主張の根拠となる内容を考えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 小論文の提出 リフレクション シート ポートフォリオ
4	書いた小論文を評価・分析して修正する	- 書き上げた小論文を評価するポイントを理解する。 - 指摘された修正点をふまえて、実際に小論文を修正できるようになる。 - 自分の考えが的確に伝わるように書かれているか、読み手の評価も参考にして文章を吟味し、書き直す。 - 文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 - 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 - 小論文を評価するポイントを粘り強く理解しようとしている。 - 書いた小論文を相互評価し、批評を踏まえて粘り強く修正しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告 ノートの提出 修正した小論文の提出 リフレクション シート ポートフォリオ
	読書のしるべ	- 読書の意義と効用を理解する。 - 教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	授業態度

「2023年度 3年現代文B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
現代文B	2単位	3	全	必修	普通科	知念 淳 印 米須 佳代子 印 仲地 ひろの 印

1. 概要及び目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- ☐ 定期テスト
- ☐ 学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。
- ☐ 中間・期末考査は、授業内容からの出題を主とするが、自主学習課題も範囲に加え、応用問題を含めて出題する。
- ☐ 小テスト
- ☐ 授業の中で、適宜小テストを実施し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や学習姿勢も察し、指導する。
- ☐ 提出物
- ☐ 授業の進度に応じ、自宅学習むけに課した課題の提出。
- ☐ 長期休業中の課題の提出。
- ☐ その他、意見文・ノート等の提出。
- ☐ 授業
- ☐ 授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。

3. 使用教科書・教材

- ☐ 教科書：『精選現代文B』（三省堂）第二部
- ☐ 副教材：『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店）

4. 授業の形態

- ☐ 普通科7クラス一斉授業。
- ☐ 特進クラス2クラス3展開

5. 学習方法

- ☐ 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ☐ ノート・課題等を適宜提出させる。

6. その他(履修上の注意)

- ☐ 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

7. 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

8. 学習計画及び評価方法 (標準時数 年間 35週 70時間)

第 1 学 期						
月	教材	学習のねらい	言語活動の例	単元 の目 標	具体的な評価規準	
4	オリエンテーション					
	鷺田清一 「わかりや すいはわ かりにく い？」	論旨を正確に追い ながら、筆者の言う 「思考」における「肺 活量」が持つ意味に ついて読み取る。	イ 論理的な文章を 読んで、筆者の考 えやその展開の仕 方などについて意 見を書くこと。	関心 ・ 意欲 ・ 態度	「思考」における「肺 活量」の必要性につ いて、引用事例を通 じて考えようとする。	「思考」における「肺活 量」の必要性について、 引用事例を通じて考えよ うとしている。
		学習指導要領の指 導事項 ア／オ		読む 能力	引用事例に着目し、 筆者の主張を過不足 なく読み取る。	引用事例に注目し、筆 者の考えを理解してい る。
5				知識 ・ 理解	主な常用漢字につい て使い方を理解す る。	主な常用漢字の音訓の 正しい使い方を身につ けている。
5	安部公房 「靴」	「靴」に対する「私」 の考え方の変化を 読み味わう。 学習指導要領の指 導事項 イ／オ	ア 文学的な文章 を読んで、人物の 生き方やその表現 の仕方などについ て話し合うこと。	関心 ・ 意欲 ・ 態度 読む 能力 知識 ・ 理解	文章に描かれた人 物、情景、心情など を表現に即して読み 味わおうとする。 文章に描かれた人 物、情景、心情など を表現に即して読み 味わっている。 国語における言葉の 成り立ち、表現の特 色及び言語の役割な どを理解している。	文章に描かれている情 景を、文や文章、語句 などから離れないよう にして読み、人物の行 動や状況を捉える手 掛かりとしようとし ている。 文章に描かれている情 景を、文や文章、語句 などから離れないよう にして読み、人物の行 動や状況を捉える手 掛かりとしようとし ている。 言語が文化の享受や 発展にどのように関 わっているのかにつ いて理解している。
6	意見文を 書く	学習指導要領の指 導事項 エ	関心をもった事柄 について様々な資 料を調べ、自分の 意見を論理的述べ ること。	書く 能力	必要な情報を用い、 相手や目的、課題に 応じた適切な表現に よる文章を書き、自 分の考えを深め、発 展させている。	関心をもった事柄につ いて、様々な資料を調 べるなどして自分の意 見を論理的に述べて いるか。
	中 間 考 査					
	池上嘉彦 『ブーボ ー』と『マ ンマ』の 記号論	筆者が述べる「符 号」と「記号」の違 いをふまえ、人間が 日常を超えようとし る創造の営みにつ いて考える。 学習指導要領の指 導事項 ア／オ	イ 論理的な文章を 読んで、筆者の考 えやその展開の仕 方などについて意 見を書くこと。	関心 ・ 意欲 ・ 態度	文章の構成や展開を 確かめ、筆者の意図 を捉えようとする。	語句や表現に注意し て文脈を捉え、筆者 の考えなどを、間違 いなく、過不足なく 読み取ろうとして いる。
読む 能力				文章の構成や展開を 確かめ、筆者の意図 を捉えている。	語句や表現に注意し て文脈を捉え、筆者 の考えなどを、間違 いなく、過不足なく 読み取っている。	
大岡昇平 「靴の話」	靴を巡る出来事や その描写を通して、 「私」の置かれてい た心理状態につい て読み味わう。 学習指導要領の指 導事項 イ／オ	ア 文学的な文章 を読んで、人物の 生き方やその表現 の仕方などについ て話し合うこと。	関心 ・ 意欲 ・ 態度	文章に描かれた人 物、情景、心情など を表現に即して読み 味わおうとする。	文章に描かれている情 景を、文や文章、語句 などから離れないよう にして読み、人物の行 動や状況を捉える手 掛かりとしようとし ている。	
			読む 能力	文章に描かれた人 物、情景、心情など を表現に即して読み 味わっている。	文章に描かれている情 景を、文や文章、語句 などから離れないよう にして読み、人物の行 動や状況を捉える手 掛かりとしようとし ている。	

				知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	している。 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。
期 末 考 査						
7	高村光太郎 「樹下の二人」 鮎川信夫 「死んだ男」 島崎藤村 「小諸なる古城のほとり」	近代から現代の代表的詩人の詩を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	詩歌を読み味わう態度を身につけ、相手に理解される朗読をしようとしている。 それぞれの詩歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。詩歌に用いられている表現技法を理解する。	詩歌の思想や感情を理解して朗読しようとしている。 筆者の感じ方や考え方を捉えながら詩歌を読んでいる。詩歌に用いられている修辞について理解を深めている。
	渡り鳥――俳句十五句	近代から現代の代表的作者の手になる十五句を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	俳句独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。 情景や感動の中心を考察しながら俳句を読む。 俳句の表現形式を理解する。	繰り返し音読することで俳句の韻律に慣れようとしている。 思想や感情に注意しながらそれぞれの句を読んでいる。 俳句の形式や修辞などについての理解を深めている。
	夏 季 休 業					
第 2 学 期						
月	教材	学習のねらい	時数	単元の目標	具体的な評価規準	
8 9	大西赤人 「判断停止の快感」	現代の「清潔願望」が「判断停止の快感」とつながっているという筆者の論理展開を読み取った上で、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導事項ア／オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	自分の経験と照らし合わせながら文章を読むとする態度を身につける。 問題意識を持って考察しながら文章を読む。必要な情報を収集し整理する方法を理解する。	現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。 考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。事実や状況を客観的に捉える方法について理解を深めている。
10	柳澤桂子 「病と科学」	人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導事項 ア／オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、題材やテーマについて考察しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、ものの見方や考え方を広げようとしている。
				読む能力	論理の展開をたどりながら文章を読む。	文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。
				知識・理解	段落構成の関係を理解する。	段落相互の働きについて理解を深めている。
中 間 考 査						
	小川洋	小説世界を読み味わ	ア 文学的な文章	関心	小説の情景や登場	想像力を働かせながら情

11	子 「飛行機で眠るのは難しい」	いながら、「男の話」を聞き終えた「私」に起こった変化とその理由について考える。	を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	・意欲 ・態度	人物の心情を読み味わおうとする態度を身につける。	景や心情を読もうとしている。	
		学習指導要領の指導事項 イ／オ			読む能力	人物の置かれた状況や場面の情景を理解する。	人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。
					知識・理解	表現上の効果を理解する。	語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。
12	見田宗介 「南の貧困／北の貧困」	筆者の論理展開をふまえ、「豊かさ」について考察し、自分の考えを整理する。	イ 論理的な文章をを読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身につける。	視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。	
		学習指導要領の指導事項 ア／オ			読む能力	表現上の特色に注意しながら文章を読む。	用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。
					知識・理解	自分の考えを文章にまとめる方法を理解する。	組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。
12	期 末 考 査						
	岡真理 「虚ろなまなざし」	一枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を読み取る。	エ 文章をを読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。	
				読む能力	文章を読むことを通して、視野の拡大と思考の深化を目指す。	筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。	
知識・理解				正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	複合語や連語などについての理解を深めている。		
	冬 季 休 業						
第 3 学 期							
月	教材	学習のねらい	時数	単元の目標	具体的な評価規準		
1	宮下紘 「忘れられる権利」	「忘れられる権利」をめぐる現状の問題点を踏まえたうえで、今後のルールのあり方について考える。 学習指導要領の指導事項 ア／オ	エ 文章をを読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、主体的に考えようとする態度を身につける。	論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。	
				読む能力	論理の展開に注意して、文章を読む。	題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。	
				学 年 末 考 査			
	加藤周一 「日本文化の雑種性」	筆者の考える「日本文化の雑種性」について理解を深める。 学習指導要領の指導事項 ア／オ	エ 文章をを読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。	
				読む能力	論理展開を捉えるための文章構成について理解する。	個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。	
				知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	

校長	教頭	教頭

教科	科目名	単位数	学年	学級	担当者名・印
国語	古典B	2	3	1～9	知念 淳 印 ・ 米須 佳代子 印 ・ 仲地 ひろの 印

1 学習目標

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
使用教科書 副読本等	三省堂 古B335 『精選 古典B 改訂版』 桐原書店『解析古典文法』 大修館書店『トータルサポート新国語便覧』 いいずな書店『みるみる覚える古文単語 300』 桐原書店『漢文必携』	学習形態	一斉授業、特進は展開

1 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

1. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
 - 1，2学期には中間考査・期末考査・実力テスト、3学期には学年末テストを実施する。
 - 中間・期末考査の出題範囲は授業内容を主とし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含むものとする。
- 小テスト
 - 授業の中で適宜、小テスト（漢字・古典文法など）を実施。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や姿勢も観察し、指導する。
- 提出物
 - 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
 - その他、感想文・ノート等の提出。
- 授業
 - 授業の出席状況・発問への主体的な姿勢を評価する。

2. 使用教科書・教材

- 教科書：三省堂『精選 古典B 改訂版』
- 副教材：桐原書店『解析古典文法』 大修館書店『トータルサポート新国語便覧』
いいずな書店『みるみる覚える古文単語 300』 桐原書店『漢文必携』

3. 授業の展開と形態

- 普通科9クラス。普通7クラスは一斉授業、特進2クラスは3展開とする。

4. 学習方法

- 年度初めに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

5. その他（履修上の注意）

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

■古文編 II部■

単元名・単元の目標	教 材	時数	学習指導内容・評価の規準と方法
一 随筆 ○『枕草子』を読み、その自由な感性と文体の魅力にふれるとともに、清少納言の描き出した宮廷社会の伝統と文化について理解を深める。	枕草子	5	1 『枕草子』と清少納言について、I部での学習を振り返りながら文学史的な基礎知識を整理する。 2 『枕草子』を正確に読解し、清少納言のものの見方、考え方、感じ方について考える。 3 I部で扱った文法事項の確認 ◇読 各作品から読み取れる作者の美意識や機知を読み取っている。（発言・話し合い・ノート・定期考査など） ◇知 『枕草子』の文学史的な基礎知識や言語事項を、正確な読解に結びつけている。（発言・ノート・定期考査など）
二 物語（一） ○『源氏物語』の中から、光源氏、藤壺、紫の上らの登場する場面を読み、『源氏物語』への興味関心を高める	源氏物語	8	1 『源氏物語』について、文学史的な基礎知識を整理し、視聴覚教材などを活用して、主な登場人物やあら筋について紹介する。 2 登場人物の心情を状況や行動に即してどう描かれているのか考える。 3 各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのか考える。 4 『源氏物語』について調べ、レポートする。 ◇読 各場面の状況や登場人物、また、登場人物の行動や心情について正確に捉えている。（ノート・発言・話し合い・定期考査など） ◇知 『源氏物語』の特質を理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。また、源氏物語の魅力を人に伝えている。（発言・ノート・レポート・定期考査など）

三 日記 ○女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれたものの見方、感じ方、考え方を参考にして、作品を鑑賞する。	蜻蛉日記	8	1 日記文学について、文学史的な基礎知識を整理する。 2 摂関政治期の貴族社会の状況や、貴族の結婚などについて古典常識を整理する。 3 『蜻蛉日記』を読解し、作者の心情を考え、歌を鑑賞する。 ◇読 作品から読み取れる作者の心情、感性を理解している。また、登場人物の人物像について考えている。(発言・話し合い・ノート・定期考査など) ◇知 古典に表れた生活や心情、表現上の特徴を理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。(発言・ノート・定期考査など)
四 物語 (二) ○『大鏡』を読み、描かれたエピソードや、登場人物の人物像を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方について理解を深めるとともに、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。	大鏡	6	1 「鏡物」について、文学史的な基礎知識を整理する。語り手の人物像を捉え、過去の助動詞「き」で語られる歴史の意味について考える。 2 登場人物の行動に注意して正確に読解し、その背景にある心情を考えながら人物像についてまとめる。また、語り手のその人物に対する評価を考える。 3 他の作品や日本史学習と関連させながら、人物像を立体化する。 ◇読 登場人物の行動や心情を捉えている。(発言・ノート・定期考査など) ◇知 歴史物語の特色について理解し、その知識と言語事項を読解に結びつけている。(発言・ノート・定期考査など)
五 評論 ○さまざまな評論を読み、古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を知ること、わが国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。	源氏物語玉の小櫛 もののあはれ	6	1 作品の文学史的な基礎知識を整理し、さまざまな分野の評論について簡単に紹介する。 2 『源氏物語玉の小櫛』を読解し、宣長の学問観について考える。 ◇読 作品で話題になっていることを読み取り、作者や登場人物の主張を理解している。(発言・話し合い・ノート・定期考査など) ◇知 さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、韻文に関する論を和歌や俳句の鑑賞に役立てている。(発言・定期考査など)
六 近世小説 ○近世小説を読み、話の展開を理解し、人間の生き方について考えを深める。	雨月物語	5	1 作品の読解を通して、登場人物の心情を読み取る。 2 近世の語彙・語法を理解する。 ◇読 登場人物の行動や心情を捉えている。(発言・ノート・定期考査など) ◇知 近世の文学史について理解している。(発言・ノート・定期考査など)

■漢文編 第Ⅱ部■

単元名・単元の目標	教材・作者	時数	学習指導内容・評価の規準と方法
一 小話 ○漢文に親しむと同時に、話の展開を整理し、そのおもしろさを味わう。	不顧後患 三横	6	1 第Ⅰ部で学んだをことを振り返りながら登場人物の言動や考え方を読み取る。 2 基本的な句法・語法を理解する。 ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)
二 史伝 ○『三国志』に登場する英雄たちの人物像や性格を読み取り、その織りなす世界のおもしろさにふれる。	「三国志」の世界	5	1 当時の時代背景と地理関係を把握する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 それぞれの人物に関する逸話を正確に読み取り、それぞれの人物の特徴を把握する。 ◇読 登場人物たちの言動や心理を的確に読み取っている。(発言・ワークシート・定期考査など) ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)
三 漢詩 (一) ○古体詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。	古体詩	3	1 型式・押韻・構成などを理解する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 漢詩に描かれた人物や情景、心情を理解する。 4 詩を読み味わうことにより豊かな人間性を養う。 ◇知 古詩と近体詩の違い、押韻の理解。(発言・ワークシートなど) ◇読 作者の思想や感情を的確に読み取り、自分のものの見方や考え方を深めている。(発言・定期考査など)
五 史伝 (二) ○長い史伝作品の読解を通して漢文に慣れ親しみ、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。	司馬遷『史記』	8	1 第Ⅰ部での学習を振り返り、『史記』及び作者司馬遷について理解する。 2 戦国時代末から秦の統一に至るまでの時代背景について理解する。 3 基本的な句法・語法を理解する。 4 各場面における登場人物の言動から、その心理・心情を読み取る。 5 中国の歴史に取材した小説やドラマ・映画などにも興味をもち、積極的に親しめるようにする。 ◇知 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など) ◇読 話の展開を理解し、登場人物の心情を的確に読み取っている。(発言・ワークシート・定期考査など)
七 思想 ○中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の社会・人間に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	思想と寓話	6	1 儒家・道家などの思想について理解する。 2 基本的な句法・語法を理解する。 3 簡潔な表現や巧みな比喩に注意して学習する。 4 思想の相違点について比較学習することにより、ものの見方や考え方を深める。 ◇知 諸子百家について理解している。(発言・定期考査など) ◇知・読 語句の意味や句型を理解し、正しく口語訳をしている。(発言・ワークシート・定期考査など)

令和5（2023）年度 3年古典応用（普通・文系クラス）シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典応用	2	3	全	選択	普通科	知念 淳 印

1年で既習の「国語総合」（古典分野）、及び2、3年で継続履修している「古典B」の内容等を参照し、古典の基本的事項を再確認するとともに、理解を深め、問題演習を通して、様々な古典作品を読み味わう。

2 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○定期テスト

☐ 1、2学期は中間考査・期末考査、3学期には学年末考査を実施する。

☐ 中間考査・期末考査は、授業内容を主にし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含めて出題する。

○小テスト

☐ 授業の中で、適宜小テストを実施する。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や姿勢も観察し、指導する。

○提出物

☐ 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。

☐ その他、ノートやファイル等の提出。

○授業

☐ 授業の出席状況・発問の主体的な姿勢を評価する。

3 使用教科書・教材

☐ 副読本：『力をつける古典』ステップ1

『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）

『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店）

『みるみる見える古文単語300』（いいずな書店）

『基礎から解釈へ漢文必携』（桐原書店）

4 授業の形態

☐ 普通科（文系クラス）4クラスからの選択、一斉授業

5 学習方法

☐ 学年はじめに古典の学習法についてガイダンスを行う。

☐ 授業は進度表に沿って行い、適宜課題や小テストを実施して、学習内容の定着を図る。

☐ ノート・課題等を適宜提出させる。

6 その他（履修上の注意）

☐ 成績評価は、定期考査を重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

7 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典の読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典の文章を読み古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め発展させている	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。

8 授業計画

学期	月	指導内容	配当時間	評価の基準
1 学期	4 月	・ (古文) 歴史的仮名遣い・品詞・活用形 ・ (古文) 動詞 ・ (古文) 形容詞・形容動詞	6	読む能力
	5 月	・ (漢文) 訓点・書き下し文・置き字・再読文字 ・ (漢文) 否定形 ・ (漢文) 禁止	6	知識・理解
	6 月	・ (古文) 助動詞①②③④	8	
	7 月	・ (古文) 助動詞⑤⑥⑦ ・ (古文) 助動詞⑤⑥⑦	6	
2 学期	9 月	・ (漢文) 使役・受身 ・ (漢文) 疑問 ・ (漢文) 反語 ・ (漢文) 感嘆・詠嘆	8	読む能力
	10 月	・ (漢文) 仮定 ・ (漢文) 比較・比況・選択 ・ (漢文) 限定・累加・抑揚 ・ (漢文) 希望・願望・倒置	8	知識・理解
	11 月	・ (古文) 助詞 ・ (古文) 敬語表現 ・ (古文) 文学史	8	
	12 月	・ (漢文) 漢詩の種類・押韻・形式・対句 ・ (漢文) 漢詩の形式・ルール ・ (古文) 古文常識	8	
3 学期	1 月	・ 総合演習	8	読む能力
	2 月	・ 総合演習	4	知識・理解
	3 月			

2023 年度 3 年国語表現 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
国語表現	2単位	3年	全	選択	普通科 特 進	上江洲 友美 印 諸見里 美幸 印 米須 佳代子 印 仲地 ひろの 印

1. 概要及び目標

- ①中学校での学習をもとに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実践的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ②伝え合う力を高めるための実践的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 提出物
 - ☐ 授業の進度に応じ、自宅学習むけに課した課題の提出。
 - ☐ 長期休業中の課題の提出。
 - ☐ その他、意見文・ノート等の提出。
- 授業
 - ☐ 授業の出席状況・発問などに対する主体的な姿勢を評価する。
- テスト
 - ☐ 学期に考查を実施する場合もある。
 - ☐ 考查は、授業内容からの出題を主とするが、応用問題を含めて出題する。

3. 使用教科書・教材

- ☐ 教科書:『国語表現 改訂版』(大修館書店)
- ☐ 副教材:サクセス小論文ノート1(桐原書店)
- サクセス小論文ノート7(桐原書店)

4. 授業の展開と形態

- ☐ 普通科文系1～5組から選択した4クラス。普通科理系6～8組から選択した3クラス。普通科(特進クラス)9・10組から選択した2クラス。

5. 学習方法

- ☐ 主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切な最も基本的な言語能力の確認。
- ☐ 発音・発声からスピーチ、プレゼンテーション、その場に応じた会話・発言や発表など、実践的な「話すこと・聞くこと」に関する言語表現の訓練と学習。
- ☐ 手紙やメールなどの通信文の書き方、ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点に関する学習。
- ☐ コラム、小論文やレポートなど実践的な「書くこと」に関連する言語表現の訓練と学習。

- ☐ ことば遊びや詩歌など、身近な題材から広がる言語表現をより深める訓練と学習。
- ☐ 会議、面接など具体的な場を想定した適切な言語表現をより深める訓練と学習。
- ☐ 日本語の基礎となるさまざまな事項(漢字・敬語・構文など)と約束ごと、表現をよりよいものにするための工夫など、言語表現の方法・能力・知識に関する学習。

4. その他(履修上の注意)

- ☐ 成績評価は、提出物及びテストを重視するが、授業態度の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

◎授業計画

月	領域	単元・考査等	学習内容	評価の基準
4	書いて伝える	1 整った文を書く 2 わかりやすい文を書く 3 文のつながり方 4 絵や写真を見て書く	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く	書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度
5	小論文・レポート入門	1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く 4 統計資料を読み取って書く	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。 ・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ・さまざまな種類のグラフの特徴を知り、その読み取り方を理解する。 ・資料から読み取ったことをふまえて、自分の意見を明確にして小論文を書く。	書く能力 知識・理解 読む能力 関心・意欲・態度
6		1 発想を広げて書く 2 レポートを書く 3 論文を書くために	・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。 ・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。 ・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	知識・理解 書く能力 関心・意欲・態度
7	自己PRと面接	1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望動機をまとめよう	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 ・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度

9		1 相手や場面に応じた会話 2 面接にチャレンジ	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。 ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方をする。	知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度
10	会話・議論・発表	1 議論して結論を出す 2 プレゼンテーションの工夫	・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。 ・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度
11	メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける 2 電話を使いこなす 3 ネット社会とコミュニケーション 4 メディアと情報	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。 ・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 ・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	知識・理解 話す・聞く能力 書く能力 関心・意欲・態度
12		1 開廷！模擬裁判 2 演説合戦にチャレンジ	・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。 ・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	知識・理解 話す・聞く能力 関心・意欲・態度
1	表現を楽しむ	1 言葉で遊ぶ 2 詩歌を楽しむ	・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。 ・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度
2		1 エッセイを書こう	・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	書く能力 知識・理解 関心・意欲・態度

2023年度 3年古典応用（特進クラス）シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典応用	2	3	全	選択	普通科	宮里 智子 印

1 概要及び目標

1年で既習の「国語総合」（古典分野）、及び2、3年で継続履修している「古典B」の内容等を参照し、古典の基本的事項を再確認するとともに、理解を深め、問題演習を通して、様々な古典作品を読み味わう。

2 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○定期テスト

- ☐ 1、2学期は中間考査・期末考査、3学期には学年末考査を実施する。
- ☐ 中間考査・期末考査は、授業内容を主にし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含めて出題する。

○小テスト

- ☐ 授業の中で、適宜小テストを実施する。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに、学習習慣や姿勢も観察し、指導する。

○提出物

- ☐ 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
- ☐ その他、ノートやファイル等の提出。

○授業

- ☐ 授業の出席状況・発問の主体的な姿勢を評価する。

3 使用教科書・教材

- ☐ 副読本：『力をつける古典 ステップ2.5』（数研出版）
『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店）
『解析古典文法 三訂版』（桐原書店編集部編）
『みるみる覚える古文単語300』（いっずな書店）
『基礎から解釈へ漢文必携』（桐原書店）

4 授業の形態

- ☐ 普通科（特進クラス）からの選択、一斉授業

5 学習方法

- ☐ 学年はじめに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- ☐ 授業は進度表に沿って行い、適宜課題や小テストを実施して、学習内容の定着を図る。
- ☐ 課題等を適宜提出させる。

6 その他（履修上の注意）

- ☐ 成績評価は、授業態度・提出物の状況と定期考査を総合的に勘案する。

7 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典の読む能力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典の文章を読み古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。

8 授業計画

学期	月	指導内容	配当時間	評価の基準
1 学期	4 月	・ (古文) 動詞・形容詞・形容動詞 ・ (古文) 助動詞	6	読む能力 知識・理解
	5 月	・ (古文) 助詞 ・ (古文) 識別「けれ」他	6	
	6 月	・ (古文) 敬語の種類 ・ (古文) 敬意の方向	6	
	7 月	・ (古文) 和歌の修辞 ・ (古文) 復習 ・ (漢文) 再読文字 ・ (漢文) 否定の基本・禁止 他	8	
2 学期	9 月	・ (漢文) 二重否定 ・ (漢文) 使役/受身 ・ (漢文) 疑問	8	読む能力 知識・理解
	10 月	・ (漢文) 反語 ・ (漢文) 感嘆・詠嘆 ・ (漢文) 比較・比況・選択	8	
	11 月	・ (漢文) 仮定・限定 ・ (漢文) 累加・抑揚 ・ (漢文) 希望・願望 ・ (漢文) 漢詩	8	
	12 月	・ (古文) 実践 ・ (漢文) 実践	8	
3 学期	1 月	・ 総合演習	8	読む能力 知識・理解
	2 月	・ 総合演習	4	
	3 月			